

「未来を担う人材の育成を目指して」

本校は、115年の歴史を持つ須賀川高等学校と74年の歴史を持つ長沼高等学校が統合し、令和4年4月に須賀川創英館高等学校として開校し4年目となる学校です。全日制普通科のキャリア指導推進校として、生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実を図り、地域と連携し地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材の育成を図るため教育活動に取り組んでいます。

生徒自らが意欲的に学び、自己の問いや社会の課題を少しずつ解決していけるよう、特に本校ならではの「経済社会と人間」や「総合的な探究の時間」といった科目、2学年からスタートする「文科系探究コース」「理数系探究コース」「ビジネス・教養コース」「芸術・スポーツコース」という4つのコースに加え、医療従事者としての人間性、職業観を高める「保健・医療人材育成教育プログラム」等の学びをとおして、一人ひとりが可能性を伸ばし、豊かな人間性と社会性を備えた未来を担う人材の育成を目指します。

「自律」「叡智」「創造」という校訓のもと、生徒たちは日々の授業をとおして、教科・科目の学習や18歳成人へ向けた取組に興味・関心を持ち、自ら校内外の教育活動に意欲的に取り組み、自身のキャリア形成を積極的に図っています。

部活動や生徒会活動も活発であり、部活動では運動部、文化部とも日々の活動から真剣に取り組んでおり、上位大会への進出を目指して励んでいます。生徒会行事には主体性を持って取り組む環境があり、その成果を発表するべく、今年度は公開文化祭である「翠陵祭」が10月に開催されます。

さらに、地域社会に貢献するために、地域との連携を推進していることも本校の大きな特徴であり、地元企業や商工団体との連携を図りながらインターンシップを行ったり、地元須賀川市が全国に誇る伝統行事である松明あかしなどに積極的に参加したりするなど、ふるさとの魅力を感じ、地域に貢献していきたいという心の醸成にも取り組んでいます。

こうした教育活動の中で、一人ひとりが様々なことに挑戦し、少しずつ自分を高めながら、卒業後の生き方や進路について考察を深め、卒業時に大きな花を咲かせて旅立っていくことを願い、教職員が一丸となって、全力で支援していきます。生徒の皆さんには、将来への夢と希望を抱き、その実現へ向けての努力を継続してほしいと思っています。

保護者や地域の皆様には、今後とも本校の教育活動に対する御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。